

# あおい通信 第99号

## 新東京街歩き

### その八 お台場と臨海副都心



晴れた昼のレインボーブリッジ

写真・文 七海邦夫

### 世評・時評

三途の淵を 歩いた男  
東電福島第一原  
子力発電所の所長  
として、最悪の事  
態を回避すべく現  
場で陣頭指揮にあつた  
人である。「死ぬと思っ  
たことが数度あった。(原  
子炉が)コントロール不  
能と感じ、これでおわり  
かと・・・」語り、後日  
報道された。

吉田昌郎さんが食道ガ  
ンで亡くなった。五八歳  
とか。官邸や東京電力本  
店からの指示が混乱錯綜  
し、寝ぼけたような命令  
も飛んでくるなかで、事  
故現場の所長として、東  
電本店と結んだテレビ会  
議で吉田さんは突然立ち  
上がり、カメラに尻を向  
けてズボンをおろし、パ  
ンツの中にシャツを入れ  
直す。カメラの向こうに  
は当時の菅直人首相もい  
た。吉田さんは自分が感  
情を爆発させれば部下が  
動揺する。パンツの尻を  
向けることで、もろもろ  
の不満を腹に吞み下した  
のだらう。被曝とガンに  
因果関係がないとして  
も、過労とストレスが命  
を縮めたのは間違いない。  
暴れ狂う原子炉と格闘し  
た末の戦死であろうか！  
ある俳人が「山笑う春、  
山滴る夏、山粧(よそ)う

夜間の羽田空港に降り  
る時、窓から見える東京  
の夜景は実に素晴らしい。  
高度を下げた飛行機の右  
にはドイツニーランド、  
左側には横浜のみなど未  
来やベイ・ブリッジ、京  
浜工業地帯など、その中  
央には臨海副都心と東京  
全体が、光の一大ページ  
エントを繰り広げている。  
何度見ても、その夜景は  
世界一だろうと自慢した  
くなる。

その臨海副都心の中心  
にあるのがレインボーブ  
リッジとエンターテイメ  
ントやグルメ、ショッピング  
のメッカお台場であ  
る。スカイツリーと東京  
ゲートブリッジが加わり、  
夜景は更に美しくなつた  
と思う。この狭いエリア  
に三つも大観覧車がある  
のは、世界にも類が無い  
だろう。

このお台場は嘉永六年  
(1853年)に黒船が浦賀  
に来航し、幕府が大慌て  
で江川太郎左衛門に命じ  
て、品川沖に十一基の砲  
台の建設を計画させた。  
ペリーの来航二ヶ月後  
には、海上に伊豆の山から  
切り出した石等で石垣を  
作り、水を掻きだして品

川の御殿山や高輪の土で  
埋め立て、急ピッチで砲  
台の工事は進められた。  
翌、嘉永七年一月のペ  
リー再来航に間にあわな  
かったが、第一、三台場  
が完成。第五、第六も完  
成したが、日米和親条約  
が結ばれた事などから、  
第四と第七台場は中断さ  
れた。



この砲台は一度も火を  
噴くことも無く、大正十  
五年(1926年)には、第  
三と第六が国の史跡に指  
定され、第三台場は昭和

三年(1928年)「台場公  
園」となった。  
戦後、副都心構想でウ  
ォーターフロントが開発さ  
れ、大まかに台場、青海  
南・北有明の四つの地区  
のうち、台場地区が一番  
早く開発され、幾つかの  
砲台が埋め立てられた。  
今此処にはフジTV、ア  
クアシテイ、自由の女神、  
パレットタウン、ヴィー  
ナスフォート、大観覧車、  
日本科学未来館、船の科  
学館、大江戸温泉等紹介  
しきれない施設と公園が



### あおい俳壇・歌壇

河西千恵子

紫陽花の 一ひらの花びらに  
籠る想ひを 濡らし降る雨  
逢ふこと無き面影をむかひの  
紫陽花に見る生母(なほ)の影  
むかひの 紫陽花一輪寝室に  
飾りて眠る 水無月の夜  
麻生伊登子  
白無垢の吾子の涙にゆき  
我こそすねたるその涙見す  
遠き日の香こそのおま庭わきに  
正台合咲きて過ぎし日のぶ  
声高に我を追いつし走りぬる  
こ女二人の背の明るわ  
相田美代子  
美しき 緑映えたる 夏料理  
アマト洗し 蛇口 全開したじけい

### 葵友の会 広報コーナー

7月度行事の結果  
カラオケ会  
21日(金) バンバン  
にて、9名の参加。  
歌舞伎鑑賞会  
28日(日) 練馬文化  
センター、9名の参加。  
8月度行事の予定  
麻雀大会  
21日(水) ベイブにて。  
カラオケ会  
23日(金) バンバンに  
て。  
(事務局長)

あり、年間を通していろ  
いろの催しものがあり、  
砲台の影もない。  
しかし、このウォター  
フロントの開発で、高層  
ビルが海風を遮り、都内  
にヒートアイランド現象  
を発生させ、汀を埋め立  
てた為に海水の自然浄化  
が出来なくなつて、東京  
湾は一時死の海になると  
ころだった。その反省で  
人口の汀も作られ、今年  
顔をつけて泳いではいけ  
ませんと言わない唯一の  
海水浴場もできたが・・・  
(このシリーズはまだ八回  
ですが、筆者の都合によ  
り、今回で終了させてい  
たいただきます。ご愛読?を  
感謝いたします)

## 利用者さんの紹介コーナー

### 富岡 昭一郎 (水、金)

昔は夏山登山をやってきました。白馬岳、北アルプス、南アルプス。高尾山もケーブルカーは使わず登っていました。磯釣りも好きでメジナなど釣っていました。あとは堤防釣りです。今は近所の池で楽しんでます。カラオケも好きです。葵では麻雀が楽しみです。



### 三木 美和 (水)

一八歳の時に中国、奉天より一カ月かけて引き揚げてきました。佐世保、岐阜、東京と移動してきました。今は家族が一五、六人集まった時に料理を作るのが楽しみです。葵では皆さんと会えることがとてもうれしです。



### 海野 みのる (金)

ゴルフ歴二十年。とても楽しんでやっています。編み物も好きで、子供のものや自分のものを作っています。編み物も好きで、子供のものや自分のものを作っています。

葵では体を動かし体力を維持しています。皆さんよろしくお願いします。



### 西村 陽(土)

昭和四年、長野の飯田生まれです。銀行員の長男です。東京学芸大卒業。小学校の教員をやりました。練馬や板橋の学校をまわりました。趣味で音楽(シヤンソン)、ピアノをちよつとやっています。葵ではがんばって運動に励んでいます。音楽のレクのある午後が楽しみです。またピアノを弾かせてください。



### 栗原 一雄(土)

東京生まれ。父親は音楽家でエノケンのバンドの指揮官をしていました。私は父親とは全く違った硬い仕事で、サラリーマンでした。週一度葵でお世話になり、私なりにがんばっております。



## 時代の道徳不道徳

山崎 利重

六月から七月にかけて梅雨の季節もようやく終り、暑い夏の時季になって真昼の散歩は無理なので、早朝の散歩に切り替え自宅の近所を歩くことにしています。

私の住んでいる周辺は大きな農家が多く、畠には満開の向日葵が咲きほこり、葡萄栽培の畠、他の野菜をつくっている畠それに続く大きな竹藪があり、それ等を眺めながら楽しく散歩をしています。その畠の端に数個の生芥が置き捨てられているのを時々見掛けます。他人の畠に芥を捨てる。

## 私の昭和史 (前編)

島田 暎一

私は昭和の初め、東京は本郷の東大病院で生まれました。丁度桜の花がそろそろ散る頃で、これが、私の波乱の人生ドラマの幕開けでした。

生まれた時、私は泣き声も立てず、心臓が動いてなかったのです。医師や看護婦さん達が、すぐに私を大きな魚のようにぶら下げ、背中や胸を叩いたらやつと声が出て、それから酸素吸入のガラス箱に入れられ、順調に生き初めたそうです。ところがある日、入浴

何て不道徳このうえなし。昔は家の傍に芥があれば芥箱に入れて行く人達が多かったのに。

何処の家にも、昔は木製の芥箱が置かれていたものだった。又、犬をつけて歩いて見掛けるが、犬がした汚物を綺麗に始末して行く人もいれば、垂流して去る人もいた。まったく常識を疑うばかりである。

散歩をして最も多く出合うのは、自転車に乗って通る人達で、年配の人は頭を下げて通って行くが、若い人達の多くは通るのが当たり前の様な顔をして、それもスピードを増して通り過ぎる。『そのけ、そのけ自転車』が通る。『良いのであるうか。』どうしてこの様な

不道徳が許される世になつてしまったのか、寂しいことである。以前の様な、道徳心豊かな世代に戻したいものだ。

それでは、神代の時代に道徳が存在したか、ふと思いつき、古事記の本を見てみたら、古代にも道徳不道徳はあった。神々の誕生

天地初めておこりしとき高天原に成りせまる神の名はアメノミナカヌシ 天地がどうやって生まれたかは、完全無視、高天原という世界が天上にあるという都合のよい設定が最初から用意されている。その高天原より、イザナキとイザナミの兄妹の神が『アメノヌボコ』なる神具をたずさえて『天の浮橋』を中継点として

地上にくだつてくる。その土地が日本最初の国土と古事記は伝えている。そしてこの島から、日本の歴史がスタートしたことになる。

イザナキとイザナミの兄妹が後に夫婦となつて多くの神々が生まれたのであるが、そのことは近親相姦ではなかったか。現在で回顧すると、道徳が疑われることである。

又、イザナキとイザナミの最初に生まれたヒルコと呼ばれる子供は五体満足でなく、ヒルコを葦舟に乗せ海に流してしまふ、現代なら確実に刑事事件となるところだ。これは完全に不道徳なことである。神代の時代が不道徳なことばかりでなく、道徳

善良なこともしている。スサノヲのヤマタノヲ口退治、ウサギを助ける若きオオクニヌシ、小さくても頼りになるスクナビコナ、彼はとりわけ人や動物の病気の治療法や害獣、害虫の駆除法にたくわしく、その普及に努めたとされている。

日本最初の力士、タケミカヅチとタケミナカタ、日本の国技である相撲は両者の対決から始まるとされている。現代の相撲道に発達した。ヤタガラスに導かれて大和を平定したイハレビコ(神武天皇)現在の日本代表サッカーチームのユニホームも三本足のヤタガラスが描かれている。いろいろと調べてみると面白いことがあるものである。

祖父は当時、村長をしており、近隣の治水に尽力し、厳格な人でしたが祖父父母は私を温かく迎えてくれ、父の一番下の弟は私には兄のようでした。また父には他に二人の妹がおり、姉の方は私にとって母親のような存在で、現在百一歳で元気です。東京の実母の顔はもう忘れてしまいました。

やがて村の小学校に入學し、東京の事はすっかり忘れ、田舎の友達も出てきたし親戚の子供達と遊んだりしました。父が帰ってきた時は、好きな魚捕りに行つてくれました。でも、私には何も言わず、いつの間にか

葵は「心と身体のリハビリ」で元気な「笑顔」を作ります